



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)6月15日号 No.1663

目次

■ ユーラシア経済連合とベトナム・東南アジア	鳴沢 政志 1
■ 統計速報	6
2015年1～5月のロシアのブランド別乗用車販売台数/6	
■ モスクワほっとニュース	7
ランチにお勧めのシャワルマ屋/7	
■ エトセラ	8
ROTOBO月例報告会「ロシア・ウクライナ・ベラルーシの肥料産業」/8	
■ トピックス	8
ロシアEEZでのサケ・マス漁獲割当量は7割減少/8	
東京都、トムスク州と観光分野などで協力/8	

ユーラシア経済連合とベトナム・東南アジア

ロシアNIS経済研究所 研究員
鳴沢 政志

はじめに

2015年5月29日、カザフスタンのブラバイ市においてユーラシア経済連合(EEU)とベトナムの自由貿易協定(FTA)が結ばれた。ベトナムとのFTAはEEUが域外の外国と結んだ初めての協定であり、今後、EEUの東南アジア進出の橋頭堡になるのではと目されている。しかしEEUの対ベトナムの貿易高は規模が小さく、経済的なメリットは見えてこない。

そこで本速報では、EEUの経済状況などを概観するとともにEEUとベトナムの経済関係を図表にまとめてご紹介する。

ユーラシア経済連合の経済概況

EEU創設は1994年3月29日にナザルバエフ・カザフスタン大統領がユーラシア国家の統合を提唱したことが端緒となっている。1995年、ロシア・カザフスタン・ベラルーシの3カ国間において関税同盟の設立に関する承認文書に署名がされ、その後、2010年に関税同盟が発足する。そして、同同盟が2012年には共通経済空間へと深化した。そして2014年5月29日にユーラシア経済連合創設に関する条約に署名が行われ、2015年1月1日より正式に発足した。また、2015年1月2日にはアルメニアが、5月21日にはキルギスが正式にEEUの加盟国となった。